

タイトル:応援の力～目の前の人の可能性をその人以上に信じること～

1. エピソード要約

このエピソードは、自己肯定感が極めて低い性別違和のトビオが自殺未遂など壮絶な経験を克服し、友人からの「応援」を胸に未来を切り開き、講演家/タレントなど夢を叶えていく話です。

「目の前の人の可能性をその人以上に信じること」

特別な能力は要りません。

「あなたならできる!」

「大丈夫!」

「頑張れ!」

その応援の言葉はその人の勇気となり、最大限の力を発揮します。

あなたは一言で、前に進める方がきっといます。

2. エピソード内容

「私には生きてる価値がない」

幼少期から心を殺して絶望の中を生き抜いてきました。

私は体が男性、心が女性の「性別違和」です。

『ホモ!おかま!なんで生きてんの?』

学校で物を隠され無視される日々。更にマットに包まれボコボコに。壮絶なイジメを経験しました。

19歳。

地元から逃げるように東京の美容室に就職。淡い期待も束の間にすぐにリストラされ、4回目のクビを経験しました。

「人と違うと嫌われるんだ。幸せになる権利はないんだ」

幼少期からの経験から自己肯定感が低く、誰も信用できないので一生一人で生きていこうと決めました。

誰にも愛されない孤独感、人や社会への復讐心、将来への不安からお金だけを信じ、身を粉にして働きました。

手に入れたものはタワーマンションに住むような生活。

気付けば鬱病、適応障害、摂食障害、過呼吸...

勇気を持って両親にカミングアウトしても受け入れてもらえず、心因性失語症に。

終いには自殺未遂。

それでも誰かに愛されたくて、甘えたくて、去年には知人女性と一緒に住み始めました。

しかし、対人トラブルになり、家財と家を失い、半ホームレスになり...

人生の底辺にいて、いよいよ人の道を外す寸前でした。

「なんで俺ばっかこんな目に合うの?普通に友達と恋愛の話もしたいし、オシャレやメイクも楽しみたい!恋愛して、家庭も持ってみたい!ただ普通に生きてみたい...」

そんな絶望の中、ミスコンテストの存在を知り、代表の方に直談判したんです。

「出場させて下さい！自分から逃げている人生を変えたいんです」

1ヵ月後、参加資格を頂き、21キロ減量し、女性の中一人男性で出場しました。

大会当日。

緊張や恐怖で潰され、トボトボ会場歩いていると見ず知らずの女性に声をかけられました。

「トランスジェンダーなんです。世間で笑われるのが怖くて、自信がなくて...」

と伝えると

「トビオさんは本当に素敵です！自分らしく、ステージを楽しんで下さい！あなたならできます!!」

と鼓舞され勇気が湧いたんです。

いざステージへ！

スピーチのテーマは「ありのままに生きる」

あまりの緊張に震えていると...

「トビオ頑張れええー!!」

声の先を見ると...

先程の女性が、そしてサプライズで来た友人が来て全力で叫んでました。

その瞬間、心のリミッターが外れ、溢れでる活力が湧き出ました！

同時に過去の苦しみ、未来や社会の想い、そして応援された喜びや驚きが溢れ...

抑え切れない涙を必死に堪え、詰まる声と乱雑な立ち振る舞いで全力で叫んだんです！

「私はトランスジェンダーです。私には生きる価値がない、幸せになる権利はないと思ってました！
たくさんの人に助けて頂いて今ここにいます。自分には価値がある！人は変わることができる！
この胸の苦しみを、皆さんに頂いた無償の愛を、エネルギーに変えて、私にしかできない方法で
社会を変えます」

結果!!

準グランプリなど前代未明の四冠達成。

「本当の私」

が初めて社会に認められた気がしました。

何より自分の存在を心の底から承認できました。

「自分には価値があるんだ!」

「自分も愛されていいんだ!」

「幸せになっていいんだ!」

「人は変わることができるんだ!」

「世界は愛で満ちている!」

私を愛してくれた人、私に関わる全ての事象に感謝できたのです。

と同時に強い思いが湧き上がりました。

「自分で苦しむ人を最後にしたい」

それから自己概念も、仕事も、性別も、人生全てが変わりました。
正しく「ありのまま」に人生を謳歌しているんです。

今は『【LGBTQ】を含む全ての人が自分らしく、ありのままに生きることができる平等な社会作り』

をかかげて講演家/インフルエンサーとして活動しております。
教育委員会、ロータリークラブなどの経営者団体対して講演活動。
各企業から司会、モデル、アンバサダーの依頼が来たり、
LGBTQ +関連のNPO法人や協会とボランティア活動などコンプレックスを強みに変えて活動しております。

そして私には夢があります。
【愛する男性と暖かい家庭を築くこと。その姿を友人、家族、社会に見せること】
幸せになる権利がないと嘆き続けた私が、日々邁進しているんです！

自己承認力や自己効力感の低かった私。
もしあの時、声援をくれた恩人達がいなかったら私はもうこの世にいなかったかもしれません。

周りに否定され続けた人は、周りの人はおろか、自分のことすら信じられません。

目の前の人の可能性を信じること。
「あなたならできる!」
「頑張れ!」
「大丈夫!」
その一言が、承認が、どれほど人を勇気づけるでしょう。

「応援の力」
で私は最高の成功体験を手に入れました!!
今度は私が多くの人の勇気や希望、一歩踏み出すきっかけになります。
ダイバーシティにおけるロールモデルとなり、皆さんを応援し続けます！

『私が世界を変えるんだ!!』

3.メッセージ

「生きている価値はない」
「幸せになる権利もない」
そう思って絶望の中を生き抜いて私が今、ビジョンを描き、自信を持って生きています。

たくさんの友人からの「応援の力」があったから。

「あなたならできる！」

その一言で前に進める方がきっといるはずですよ。

ぜひ、目の前の人の可能性をその人以上に信じてあげてください。